

オキナワハイネズ

ヒノキ科

Juniperus taxifolia

在来種

別名 - 方言名 ヒッチャシ、ピケース、ハママチ、フィッチェーシ

生育型 地被類 常緑針葉 繁殖 実生、挿木、取木



分布 日本（トカラ列島、伊豆半島南部、伊豆七島、奄美以南）

見た目の特徴

匍匐性の低木。

用途

地被、添景樹

植栽・管理のポイント

- ・耐潮風性が強い。
- ・海岸地域の植栽に適する。
- ・土壌は特に選ばないが、酸性土壌を好む。
- ・日当たりの良く排水の良い場所を好む。
- ・乾燥に強く、湿地には適さない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：ミノムシ類、その他：カイガラムシ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

盆栽として利用される。

ギョウギシバ		イネ科	<i>Cynodon dactylon</i>	在来種
別名	-			方言名 アシジラー、アシジリ
生育型	地被類	多年草	繁殖	株分、実生
				
分布	世界の暖地、日本各地			
見た目の特徴	茎は匍匐性、節部から根を出して広がる。茎は直立し花穂を付ける。		用途	地被
植栽・管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜刈込みが必要。 ・踏み付けに非常に強い。 			
食樹・食草として利用する動物	-			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）	<p>家畜飼料として利用される。</p> <p>横走る茎から規則正しく花穂を出すことから、ギョウギシバ（行儀芝）と名付けられたと言われている。シバと名付けられているが、イネ科の植物である。</p>			

クロイワザサ	イネ科	<i>Thuarea involuta</i>	在来種
--------	-----	-------------------------	-----

別名 - 方言名 ハマガキナ、スナザサ

生育型 地被類 多年草 繁殖 株分、実生



分布 台湾、南中国、旧熱帯地方、日本（トカラ列島以南）

見た目の特徴	用途
匍匐性の茎で、節部から根を出して広がる。葉は線状長楕円形で先はとがる。白色の小花を櫛状に咲かせる。	地被

植栽・管理のポイント

・踏圧には弱い。

食樹・食草として利用する動物

-

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

和名は、沖縄の動植物を研究した黒岩恒に因んで名付けられた。

コウシュンシバ		イネ科	<i>Zoysia matrella</i>	在来種
別名	ハリシバ		方言名	アシジリ、ハマアシジリ
生育型	地被類 多年草		繁殖	実生、株分
				
分布	台湾、熱帯アジア、インド洋沿岸、オーストラリア、九州（南部）、小笠原諸島、奄美以南			
見た目の特徴	葉が細く緻密に地表面に覆う。	用途	地被	
植栽・管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・芝張りは春、秋が適期で、芝張り後は砂で目土を行い転圧する。 ・適宜刈込みが必要。 			
食樹・食草として利用する動物	<p>【昆虫類】ガ類：ハスモンヨトウ、甲虫類：リュウキュウドウガネ</p>			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）	<p>類似種にコウライシバ <i>Zoysia pacifica</i> があり、コウシュンシバ <i>Zoysia matrella</i> の流通名がコウライシバとなっている場合があり、紛らわしい。</p>			

イヌシバ	イネ科	<i>Stenotaphrum secundatum</i>	外来種
------	-----	--------------------------------	-----

別名 セントオーガスチングラス、アメリカシバ 方言名 -

生育型 地被類 多年草 繁殖 挿木



分布 アメリカ南部、熱帯アメリカ

見た目の特徴

地表面を這う強健な芝。

用途

地被

植栽・管理のポイント

- ・ コウライシバに比べ、耐陰性があり樹木下でも植栽可能である。
- ・ 生長が早いので年4~8回の刈込みが必要である。
- ・ 耐乾性が強い。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】 チョウ類：チャバネセセリ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

芝生の材料として導入された。日陰でも育つため、公園等に多く植栽されている。

ツルメヒシバ		イネ科	<i>Axonopus compressus</i>	外来種
別名	-		方言名	-
生育型	地被類	多年草	繁殖	株分
				
分布	中南米			
見た目の特徴	柔らかさが感じられる広い葉。		用途	地被
植栽・管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・日当たりが良く排水の良い場所を好む。 ・耐陰性があり、踏圧にも強い。 ・病虫害の被害は少ない。 			
食樹・食草として利用する動物	-			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）	<p>海外では、果樹園等のプランテーションにて下草を生やさないように植えられていたと言われている。また牧草としても利用されている。</p>			

アマミツタ

ブドウ科

Parthenocissus heterophylla

在来種

別名 ウッドバイン、キヅタ

方言名 キレルカヅラ

生育型 つる性種 半落葉広葉樹

繁殖 実生、挿木



分布 台湾、南中国、インドシナ、マレーシア、奄美大島以南

見た目の特徴

茎ひげの先端に吸盤を持つ。葉は濃緑色。
秋には紅葉する。

用途

壁面、地被

植栽・管理のポイント

- ・生長が非常に早い。
- ・挿木より実生で繁殖し、肥培した方が良く生育する。
- ・冬季の落葉期に剪定を行って、樹勢を調整する。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】ガ類：スズメガ類

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

コンクリート建築の壁面緑化、石垣などの緑化に好適である。

オオイタビ	クワ科	<i>Ficus pumila</i>	在来種
別名	－ 方言名 イシマキ、チタ、トンプイ、イシバーキ		
生育型	つる性種 常緑広葉樹	繁殖 実生、挿木、取木	
			
分布 南朝鮮、台湾、中国、本州中南部以南			
見た目の特徴 枝から気根を出し、葉は厚く光沢ある。果実は楕円形もしくは球形。		用途 壁面	
植栽・管理のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的日当たりの良い場所を好むが、半日陰にも耐える。 ・ 海岸地域からやや内陸部の植栽に適する。 ・ ガジュマルと同様の病虫害が見られる。 ・ 腐植質の多い排水の良い土壌を好む。 			
食樹・食草として利用する動物 <ul style="list-style-type: none"> 【哺乳類】 オリイオオコウモリが果実を採餌 【昆虫類】 チョウ類：イシガケチョウ、ツمامラサキマダラ、ガ類：ホシヒトリモドキ 			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など） 茎葉は家畜の飼料として利用される。 コンクリート建築の壁面緑化、石垣などの緑化に好適である。			

コウシュンカズラ

キントラノオ科

Tristellateia australasiae

在来種

別名 -

方言名 -

生育型 つる性種 常緑広葉樹

繁殖 挿木、実生



分布 台湾、ニューカレドニア、沖縄本島以南

見た目の特徴

緑量の多い深緑の葉と鮮黄色の花。

用途

バーゴラ、フェンス、生垣

植栽・管理のポイント

- ・耐潮性、乾燥・過湿にも強く環境適応力に優れる。
- ・土壌は特に選ばない。
- ・日当たりが良く排水の良い場所を好む。
- ・剪定は込み合った枝を除去する。
- ・病害虫の被害はほとんどない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】チョウ類：台湾アオバセセリ、ヤクシマルリシジミ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

和名のコウシュンカズラは、台湾の最南端の地名「恒春」に因んでいると言われている。

サクララン		ガガイモ科	<i>Hoya carnosa</i>	在来種
別名	－	方言名	カミサシバナ	
生育型	つる性種 常緑広葉樹	繁殖	挿木	
 				
分布	台湾、南中国、鹿児島南部以南			
見た目の特徴	<p>匍匐性で茎は岩や木に密着して伸長し、節から根を出す。葉は多肉質で楕円形。花は白色で中心部は紅色、球状に多数咲く。</p>		用途	壁面、バーゴラ、フェンス
植栽・管理のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日当たりの良いところを好むが、直射日光が当たるところは避けて植栽する。 ・ 排水の良い場所に植栽する。 ・ 風通しが悪いとカイガラムシが発生することがある。 			
食樹・食草として利用する動物	<p>【昆虫類】 チョウ類：アサギマダラ、その他：カイガラムシ類</p>			
備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）	<p>和名は、花の色がサクラに似て、葉がランに似ていることから名付けられた。</p>			

ハマニンドウ	スイカズラ科	<i>Lonicera affinis</i>	在来種
--------	--------	-------------------------	-----

別名 イヌニンドウ 方言名 チンヂンソー

生育型 つる性種 常緑広葉樹 繁殖 挿木



出典：沖縄植物野外活用図鑑

分布 中国、紀伊半島以南

見た目の特徴

つる性で茎は褐色、花は淡黄白色から黄色に変化する。

用途

フェンス、地被、防潮、バーゴラ

植栽・管理のポイント

- ・日当たりが良く排水の良い場所を好む。
- ・生長は早く丈夫で、良く分枝するので適度な剪定が必要である。
- ・病虫害の被害は少ない。

食樹・食草として利用する動物

—

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

薬用として利用される。

和名は、海岸に生える忍冬（スイカズラ）の意味である。

ホウライカガミ

キョウチクトウ科

Parsonsia alboflavescens

在来種

別名 -

方言名 -

生育型 つる性種 常緑広葉樹

繁殖 挿木



分布 台湾、南中国、インド、マレーシア、喜界島以南

見た目の特徴

茎は長く伸び、葉は楕円形、厚い革質で表面はやや光沢がある。花は帯緑白色をした小さな花を咲かせる。

用途

フェンス、バーゴラ

植栽・管理のポイント

- ・ 海岸地域の植栽に適する。
- ・ 石灰岩土壌を好む。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】 チョウ類：オオゴマダラ、ツマムラサキマダラ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

キョウチクトウ科で毒性があり、汁に触れた場合は目や口に入らないように、すぐに洗い流す。オオゴマダラの食草として、単一種で公園などに植栽される事例が多い。様々な地域で植栽されることで、本来のホウライカガミの生育環境（海岸部）とは異なる内陸部で、オオゴマダラが見られるようになった。

リュウキュウテイカカヅラ

キョウチクトウ科

Trachelospermum asiaticum

在来種

別名 チョウセンテイカカヅラ

方言名 ウクワンシンカンダ

生育型 つる性種 常緑広葉樹

繁殖 挿木



出典：沖縄植物野外活用図鑑

分布 東アジア、北米、本州以南

見た目の特徴

力強く伸びる枝が密生し、芳香の花が咲く。

用途

地被、バーゴラ

植栽・管理のポイント

- ・ 土壌は特に選ばず、栽培は極めて容易である。
- ・ 日当たりの良い場所を好むが、耐陰性もある。
- ・ 剪定は伸びすぎたツルを切る程度でよい。
- ・ 病害虫の被害は少ない。

食樹・食草として利用する動物

【昆虫類】 チョウ類：ツマムラサキマダラ

備考（人々との関わり・利用方法、市民の評判など）

結索用、観賞用に利用される。

和名は、藤原定家に因んで名付けられた。

2) 推奨種リスト

【凡例】	在来種A	土地本来の種（潜在自然植生の構成種）
	在来種B	帰化の歴史が古くはっきりしない種、限られた地域から人為的に広まったと考えられる種
	外来種A	琉球王朝統一後から明治以前に海外から移入し、一般になじみがあり、広く利用されている種
	外来種B	明治以降に海外から移入した種

1. 本来の自然環境に回復することが期待できる種
2. 沖縄らしさを感じられる種
3. 花や樹形を楽しめる種

生育型	形態	種名	区分	1	2	3	採餌・食樹・食草として利用する主な動物		
							【哺乳類】	【鳥類】	【昆虫類】他
高木	常緑広葉	アカテツ	在来種A	●				ガ類：オシロシアジラトクツバ、ウモンマドガ	
高木	落葉広葉	アコウ	在来種A	●		オリーブのミ	スアカアオハト、ヒドリ、シロガシ	ガ類：イカケチヨウ、ガ類：アコウノメイガ、アコウハマキヒキ、ムツノメイガ、甲虫類：イシノカミキリ、キホシカミキリ、アヤメチビカミキリ、その他：キロワタキカイガラムシ、アオイロシロカイガラムシ	
高木	常緑広葉	アマミアラカシ	在来種A	●	●	オリーブのミ		ガ類：ムラサキジミ、ガ類：ムモンサキバガ、クワサキヤチホコ、スズバヒメハキ、オリーブチバガ、オリーブモンサキホコ	
高木	常緑広葉	イスノキ	在来種A	●				ガ類：ヤクサマルシジミ、ガ類：イスノキカガ、レイウスバヒメハキ、ヤクサドクガ、ヤマユ、イスノキチバガ、マエグロマイマイ、甲虫類：オキナグマフカミキリ、オキナグマツボシカミキリ、リュウキョウリタマシ、その他：イスノキシロカイガラムシ、イスノキアブラムシ、ミカンコナジラミ、アオバノコ DE	
高木	落葉広葉	エゴノキ	在来種A	●	●		カラスバト、ヤマガラ	ガ類：オシロシアジラトクツバ	
高木	常緑広葉	オオハマボウ	在来種A	●	●	●		ガ類：オキナグマフカミキリ、カミシジメ、シロシヨウジ、カミシジメ、その他：キジラミ類、カイガラムシ類、アブラムシ類	
高木	常緑広葉	オキナワシャリンバイ	在来種A	●	●	オリーブのミ		ガ類：ムモンサキバガ、マエグロマイマイ、ヒメワタチバガ、ウスキバメダシヤク、ヤクサバハカガ、ヨシモトクガ、甲虫類：タイワンカボノタマシ、その他：ウタアブラムシ、キジラミ、アオバノコ DE、ツノウミ、オシロシアジラトクツバ	
高木	常緑広葉	ガジュマル	在来種A	●	●	オリーブのミ	ヒドリ、シロガシ、コムドリ、ムシユルカクダアブラムシ、ガジュマルアブラムシ	ガ類：イカケチヨウ、ヤマユサキマダラ、マルバネリマダラ、ガ類：スバドクガ、ホヒトリヒキ、甲虫類：オキナグマフカミキリ、イシノカミキリ、その他：ウタアブラムシ、ガジュマルカミキリ	
高木	落葉広葉	カンヒザクラ	在来種B		●	●	オリーブのミ	ガ類：オシロシアジラトクツバ、タイワンキクガ、トビモンイタダシヤク、コヒメゴマホクゲウ、その他：ナクノカミカイガラムシ、クワノアブミウ、アブラムシ類	
高木	常緑広葉	クスノハカエデ	在来種A	●				ガ類：オシロシアジラトクツバ、ナカヒゲアブトシヤク、ササナミシロアオヤク、甲虫類：オシロシアジラトクツバ、オキナグマフカミキリ、タマシ	
高木	常緑広葉	クロヨナ	在来種A	●	●			ガ類：オシロシアジラトクツバ、セリ、リュウシジミ、ウツナシジミ、ヒメワタチバガ、ウツナシジミ、ウツナシジミ、ウツナシジミ、ガ類：マルモンサキバガ、アオバノメイガ、甲虫類：ムモンサキバガ、オキナグマフカミキリ、オキナグマツボシカミキリ、カミシジメ、カミシジメ、ツボシカミキリ	
高木	落葉広葉	クワノハエノキ	在来種A	●		オリーブのミ	ヒドリ	ガ類：テングチヨウ、フタチヨウ、ガ類：ヒメワタチバガ、甲虫類：オシロシアジラトクツバ	
高木	常緑広葉	サガリバナ	在来種A	●	●	●		ガ類	
高木	常緑広葉	サンゴジュ	在来種A					ガ類：オキナグマフカミキリ、ミナモトシロアブ、甲虫類：サンゴジュユルカ、コガネ類、その他：ウタアブラムシ、アブラムシ類、ウツナシジミ	
高木	常緑広葉	シマグワ	在来種A	●	●	オリーブのミ	ヒドリ、シロガシ	甲虫類：ウツナシジミ	
高木	半落葉広葉	シマトネリコ	在来種A	●		オリーブのミ		ガ類：シマクサノメ、スズバヒメハキ、甲虫類：フヒケアメイロカミキリ、クワノアブ、カガトシジミ	
高木	落葉広葉	センダン	在来種A	●	●	オリーブのミ	ヒドリ、シロガシ、シロハ	ガ類：トシジメ、イタダシヤク、ヤクサバヒメハキ、センダンヒメハキ、甲虫類：コマラカミキリ、タイワンカボノタマシ、キクイシ、その他：アカルカイガラムシ	
高木	常緑広葉	タイワンウオクサギ	在来種A	●				ガ類：シモリスノメ、オキナグマフカミキリ、クワノアブ、コヒメゴマホクゲウ	
高木	常緑広葉	タブノキ	在来種A	●		オリーブのミ	ノグチガラ、カラスバト	ガ類：アオシラアゲハ、ガ類：タブヒメハキ、ホシシジメ、イタダシヤク、シロモンサキチバガ、ハスオヒヒメハキ、オシロシアジラトクツバ、甲虫類：コヒメゴマホクゲウ、オシロシアジラトクツバ、オキナグマフカミキリ、キクイシ類、その他：ヒメワタチバガラムシ、アブシロシアジラトクツバ	
高木	常緑広葉	テリハボク	在来種B		●	●	オリーブのミ		
高木	常緑広葉	ニッケイ	在来種A	●				ガ類：アオシラアゲハ	
高木	常緑広葉	ハマユビワ	在来種A	●		オリーブのミ	ヒドリ、シロガシ	ガ類：イカケチヨウ、ヤマユサキマダラ、マルバネリマダラ、ガ類：ムツノメイガ、イカリモンメイガ、マヒメノシロノメイガ	
高木	常緑広葉	ハマビワ	在来種A	●				ガ類：アオシラアゲハ、甲虫類：コヒメゴマホクゲウ、オシロシアジラトクツバ	
高木	常緑広葉	ヒロウ	在来種A	●	●	オリーブのミ		ガ類：タイワンカボノタマシ、ガ類：ツバカネミガ、甲虫類：キムネノカガラムシ、タイワンカボノタマシ、オシロシアジラトクツバ、その他：カイガラムシ類、アブ類	

【凡例】	在来種A	土地本来の種（潜在自然植生の構成種）	1. 本来の自然環境に回復することが期待できる種
	在来種B	帰化の歴史が古くはっきりしない種、限られた地域から人為的に広まったと考えられる種	2. 沖縄らしさを感じられる種
	外来種A	琉球王朝統一後から明治以前に海外から移入し、一般になじみがあり、広く利用されている種	3. 花や樹形を楽しめる種
	外来種B	明治以降に海外から移入した種	

生育型	形態	種名	区分	1	2	3	採餌・食樹・食草として利用する主な動物		
							【哺乳類】	【鳥類】	【昆虫類】他
高木	常緑広葉	ホルトノキ	在来種A	●			オビイロコウモリ	スアカアハト	ガ類:ホトノキガ、ヒゲガ、スジノヒメハナキ、オシロイヒメハナキ、マエヤナシヤク、ミメヒゲアトナシヤク、マエグロイマイ、オシノガ、その他:ハシロカカガラムシ
高木	常緑広葉	モクダチバナ	在来種A	●	●				ゾウ類:アマミラミシジミ、ガ類:サカゲトキクガ、イソヒメハナキ
高木	常緑広葉	モモタマナ	在来種A	●	●		オビイロコウモリ		ゾウ類:タイワンアハセリ、ガ類:タイワンキクガ、ヨシロイノキガ、その他:クサカキガラムシ
高木	常緑広葉	ヤブツバキ	在来種B			●		スジノ、ヒヨドリ	その他:ハシロアブラムシ、アハセリノキガ、ツバキキクガラムシ、ツバキノミ
高木	落葉広葉	ヤブニツケイ	在来種A	●					ゾウ類:アオシラアゲハ、ガ類:ハスヒヒメハナキ、チラスジノハナキツガ
高木	常緑広葉	リュウキュウコクタン	在来種A	●			オビイロコウモリ	ヒヨドリ、シロガシラ	その他:ヒゲアトガリキジノミ、アサミマ
高木	常緑針葉	リュウキュウマツ	在来種A	●	●	●	オビイロコウモリ		ガ類:マツノマダラメイガ、オキナワツバキ、甲虫類:マツノマダラカミキリ、その他:マツノマダラエ、マツノマダラハナキ、カイガラムシ類、マツノアブラムシ、線虫類:マツノイシシロコウ
高木	落葉広葉	サルスベリ類	外来種B			●			ガ類:オシノガ、ドクガ類、甲虫類:クサカキリ、その他:カイガラムシ類、アブラムシ類
高木	常緑広葉	ソシンカ類	外来種B			●			ガ類:ドクガ類
高木	落葉広葉	トックリキワタ	外来種B			●	オビイロコウモリ		ガ類:ミナガキ類、その他:カイガラムシ類、オキナワツバキ
高木	常緑広葉	フクギ	外来種A		●		オビイロコウモリ		ガ類:スサノハガ、甲虫類:フクギノキクガ、その他:カイガラムシ類
低木	常緑広葉	アダン	在来種A	●	●				ガ類:タノキガリボリガ、甲虫類:コガネノキ、その他:ハシロアブラムシ、タノキカキガラムシ、甲殻類:オキナワツバキ、ヤシノコ
低木	落葉広葉	オオムラサキシキブ	在来種A	●		●		ヒヨドリ、シロガシラ	ガ類:カモヒトリ、クサカキガ、タスマン、マダラノメイガ
低木	常緑広葉	オキナワツゲ	在来種A	●		●			ガ類:ツゲノメイガ、その他:トビノマルカキガラムシ、ツゲノカキガラムシ
低木	常緑広葉	クサトベラ	在来種A	●		●			ガ類:マエグロイマイガ、イシノキクガ、甲虫類:ハムシ類
低木	常緑広葉	クチナシ	在来種A	●		●		スジノ	ゾウ類:イカガシジミ、ガ類:オシノガ、タイワンキクガ、オシノガ、その他:クサカキガラムシ
低木	常緑広葉	クロツグ	在来種A	●		●			ゾウ類:クロツグシシ
低木	常緑広葉	ゲッキツ	在来種A	●		●	オビイロコウモリ	シロガシラ	その他:アハセリノキガ、ミカンクワラムシ、コバノマルカキガラムシ、ミカンカキガラムシ
低木	常緑広葉	サキシマフヨウ	在来種A	●	●	●			ガ類:ウメノキガ、フタノキガ、その他:クサカキガ、アブラムシ類、クサカキガラムシ、コナノミ、カミキリ類、クサカキガ、ヨコバネ類
低木	落葉広葉	シヨウロウクサギ	在来種A	●		●			甲虫類:クサカキ類
低木	常緑広葉	ソテツ	在来種A	●	●	●			ゾウ類:ソテツジミ、クサカキラシジミ、甲虫類:タイワンカミキリ、その他:ハシロカキガラムシ
低木	常緑広葉	トベラ	在来種A	●					ガ類:トベラノメイガ、トベラノクサカキガ、アマミラミシジミ、クサカキガ、その他:アブラムシ類、カイガラムシ類
低木	常緑広葉	ネズミモチ	在来種A	●				ヒヨドリ	ガ類:オシロイヒメハナキ、チラスジノハナキ、アハセリノキガ、その他:アハセリノキガ、ヒメハナキ
低木	落葉広葉	ボチヨウジ	在来種A	●					
低木	常緑広葉	マサキ	在来種A	●					ガ類:ハシロガ、その他:ハシロガノメイガ
低木	常緑広葉	モンバナノキ	在来種A	●	●	●			ガ類:ハシロガ、オキナワツバキ、その他:ハシロガノメイガ
低木	常緑広葉	クロトンノキ	外来種A		●	●			ガ類:ツバキ類、ヨウモリ類、シロガシラ類、その他:クサカキガ、アブラムシ類
低木	常緑広葉	県外産ツゲ類	外来種B			●			その他:カイガラムシ類
低木	常緑広葉	テイキンザクラ	外来種B			●			その他:カイガラムシ類
低木	常緑広葉	ハイビスカス類	外来種B		●	●		スジノ	ガ類:ツバキ類、その他:クサカキガ、アブラムシ類、ハムシ類、アブラムシ類、カイガラムシ類
低木	常緑広葉	ブソウゲ	外来種A		●	●		スジノ	ガ類:ツバキ類、その他:クサカキガ、アブラムシ類、ハムシ類、アブラムシ類、カイガラムシ類
低木	常緑広葉	マツリカ	外来種B			●			

【凡例】	在来種A	土地本来の種（潜在自然植生の構成種）	1. 本来の自然環境に回復することが期待できる種
	在来種B	帰化の歴史が古くはっきりしない種、限られた地域から人為的に広まったと考えられる種	2. 沖縄らしさを感じられる種
	外来種A	琉球王朝統一後から明治以前に海外から移入し、一般になじみがあり、広く利用されている種	3. 花や樹形を楽しめる種
	外来種B	明治以降に海外から移入した種	

生育型	形態	種名	区分	1	2	3	採餌・食樹・食草として利用する主な動物		
							【哺乳類】	【鳥類】	【昆虫類】他
草本類	多年草	オオタニワタリ類	在来種A	●	●	●			貝類:カツムリ類、ナメジジ類
草本類	多年草	オキナウラボシ	在来種A	●		●			その他:カイガラムシ類
草本類	多年草	ゲットウ	在来種B		●	●			ゾウ類:クビシ、オシロイセシ、シロクワミジミ
草本類	多年草	コモチシダ	在来種A	●					
草本類	多年草	タマシダ類	在来種A	●	●	●			その他:バク類
草本類	多年草	ツツブキ	在来種A	●		●			貝類:カツムリ類
草本類	多年草	テッポウユリ	在来種A	●	●	●			その他:ウツアラムシ
草本類	多年草	ハマオモト	在来種A	●		●			ガ類:ハスモンゴウ、ハマオモトゴウ、貝類:カツムリ類、ナメジジ類
草本類	多年草	ボタンボウフウ	在来種A	●		●			
草本類	多年草	ヤブラン	在来種A	●		●			
草本類	多年草	クササندانカ	外来種B			●			
草本類	多年草	タマスダレ	外来種B			●			
地被類	常緑針葉	オキナワハイネズ	在来種A	●		●			ガ類:ミノムシ類、その他:カイガラムシ類
地被類	多年草	ギョウギシバ	在来種A	●					
地被類	多年草	クロイワザサ	在来種A	●					
地被類	多年草	コウシュンシバ	在来種A	●					ガ類:ハスモンゴウ、甲虫類:リュウキュウウガネ
地被類	多年草	イヌシバ	外来種B			●			ゾウ類:チャバシセリ
地被類	多年草	ツルメヒシバ	外来種B			●			
つる性種	半落葉広葉	アマミツタ	在来種A	●					ガ類:スズメガ類
つる性種	常緑広葉	オオイタビ	在来種A	●			クイオコウリ		ゾウ類:イカクチョウ、ウラムシマダラ、ガ類:ホトリドキ
つる性種	常緑広葉	コウシュンカズラ	在来種A	●		●			ゾウ類:タイワアホセリ、ヤクマカリジミ
つる性種	常緑広葉	サクララン	在来種A	●		●			ゾウ類:アサギマダラ、その他:カイガラムシ類
つる性種	常緑広葉	ハマニンドウ	在来種A	●		●			
つる性種	多年草	ホウライカガミ	在来種A	●					ゾウ類:オコマダラ、ウラムシマダラ
つる性種	常緑広葉	リュウキュウテイカズラ	在来種A	●		●			ゾウ類:ウラムシマダラ